# 2026年度 第6回（11月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

## 2　問1（4点）

use

答え: use

・日本語のメモ「会場では自分のコップを**使って**ください」に対応。

・"Please ( use ) your own cup to reduce garbage."（**use**＝「使う」）。to reduce garbage は「ごみを減らすために」という目的を表す。

・u で始まる語という条件にも合う。

## 2　問2（A）（3点）

ア（who）

答え: ア (who)

・"please ask the volunteers ( who ) are wearing red caps"＝「赤い帽子をかぶっているボランティアに聞いてください」。

・先に来る the volunteers（**人**）を説明し、あとに動詞 are wearing が続くので、**主格の関係代名詞** who（that も可）。

・which は人には使わない。whose は「〜の」でそのあとに名詞が続く。what はその前に名詞を置かない。

## 2　問2（B）（3点）

イ（sold）

答え: イ (sold)

・"Food from our town will be ( sold ) at about thirty shops."＝「町の食べ物が約30のお店で売られます」。

・**受動態（be動詞＋過去分詞）**。will be のあとなので過去分詞 sold（sell の過去分詞）。日本語のメモ「食べ物が**売られます**」に対応。

・sell（原形）・sells は will be のあとに置けない。selling だと will be selling（〜を売っているだろう）となり、「食べ物が売っている」という意味になって合わない。

## 2　問2（C）（3点）

エ（to join）

答え: エ (to join)

・"We want many children ( to join ) the game corner."＝「たくさんの子どもたちにゲームコーナーに参加してほしいです」。

・**want 人 to ＋ 動詞の原形**＝「人に〜してほしい」。日本語のメモ「参加してほしい」に対応。

・join（原形）・joined・joining は want 人 のあとに置けない。

## 2　問3（4点）

| （解答例）I think you should watch the drum show. It will be exciting because the children in our town practice hard every day. |
|---|

**解答例:** I think you should watch the drum show. It will be exciting because the children in our town practice hard every day.
**訳:** 太鼓の演奏を見るのがよいと思います。町の子どもたちが毎日一生けんめい練習しているので、わくわくすると思います。
**採点ポイント:**
・語群（drum / delicious / because）から1語以上使用
・1文目＝すすめる楽しみ方、2文目以降＝それをすすめる具体的な理由
・全体で2文以上
・【日本語のメモ】の内容（11時から太鼓、約30のお店の食べ物、ゲームコーナーなど）と矛盾しないこと
・文法・スペルの正確さ
・別解の例: I think you should try the food. It is delicious, so you will like it.

## 3　問1（3点）

| C |
|---|

答え: C
・補う文: **When I heard these words, I almost cried.**（この言葉を聞いて、私は泣きそうになりました）
・**these words** は、直前で相手が言った言葉を指す。おばあさんが "Your music made me feel young. Please come again!" と言ったあとの C に入れると、「その言葉を聞いて泣きそうになった」と自然につながる。
・A に入れると、まだだれの言葉も出てきていない。B に入れると、おばあさんが話しかけてきただけで、まだ言葉を聞いていないので合わない。

## 3　問2（4点）

| 2番目=イ（played）・4番目=エ（piano） |
|---|

答え: 2番目 = イ (played), 4番目 = エ (piano)
・正しい語順: **who played the piano for** → "She was a woman **who played the piano for** fifty years."
・1: who (ア) / 2: played (イ) / 3: the (ウ) / 4: piano (エ) / 5: for (オ)
・**主格の関係代名詞 who**＋動詞：a woman who played 〜 ＝「〜を弾いていた女性」。who は直前の人（a woman）を説明するので、a woman のすぐあとに置く。
・**for ＋ 期間**＝「〜の間」。for のあとに fifty years が続く。
・**訳:** 彼女は、50年間ピアノを弾いていた女性でした。

## 3　問3（3点）

| イ（been） |
|---|

答え: イ (been)
・"Now I have ( been ) a member of this group for seven months."＝「私はこのグループの一員になって7か月になります」。
・**現在完了（have＋過去分詞）の継続**。"for seven months"（7か月間）が、過去から今まで続いていることを表す目印。be の過去分詞は been。
・have のあとに be・was・being は続けられない。

### 3　問4（4点）

| |
|---|
| is held |

答え: is held

・本文 "Every month, our group visits a nursing home near our school, and a small concert **is held** there." より（there＝the nursing home）。

・**受動態＝be動詞＋過去分詞**。主語が a small concert（1つ）で現在の文なので、be動詞は is、hold の過去分詞は held。

・**訳:** 小さなコンサートが、毎月その老人ホームで開かれます。

### 3　問5（4点）

| |
|---|
| ウ |

答え: ウ

・第3段落 "Your music made me feel young." と一致。

・ア: ポスターを見たのは**community center**（公民館）で、学校ではない。

・イ: "I made many mistakes." なので、たくさんまちがえた。

・エ: "for seven months" なので、seven years は不一致。

### 4　問1（4点）

| |
|---|
| （小学校で）避難訓練のたびに、生徒全員が話さずに校庭まで歩いたこと。 |

答え例: 「（小学校で）避難訓練のたびに、生徒全員が話さずに校庭まで歩いたこと。」

・下線部①の That は、直前のDaikiの発言 "all the students walked to the schoolyard without talking during every drill" の**内容全体**を指す。

・**採点ポイント:** 「話さずに」「校庭まで歩いた」の2要素が入っていること。「生徒全員が」「訓練のたびに」も入っているとよい。

・直後の "taught us to stay calm（落ち着いていることを教えてくれた）" とつながるかを確かめる。

### 4　問2（4点）

| |
|---|
| 2番目=ウ（shows）・4番目=オ（dangerous） |

答え: 2番目 = ウ (shows), 4番目 = オ (dangerous)

・正しい語順: **which shows the dangerous places** → "Look at this hazard map **which shows the dangerous places** in our town."

・1: which (ア) / 2: shows (ウ) / 3: the (イ) / 4: dangerous (オ) / 5: places (エ)

・**主格の関係代名詞 which**＋動詞：this hazard map which shows 〜 ＝「〜を示すこのハザードマップ」。which は直前のもの（hazard map）を説明するので、map のすぐあとに置く。

・**the ＋ 形容詞 ＋ 名詞**の順（the dangerous places）。

・**訳:** 町の危険な場所を示しているこのハザードマップを見て。

**4　問3**（3点）

| ウ |
|---|

答え: ウ

・Harukaの発言 "Last night, I checked the emergency bag at home." と一致。

・ア: Sofiaは "we practice at school, too" と言っていて、チリの学校でも練習する。

・イ: 小学校では "without talking"（話さずに）歩いた。

・エ: Sofiaのホストマザーは "twice a year"（年に2回）点検するよう言っている。

**4　問4**（3点）

| ア |
|---|

答え: ア

・Mr. Ito が直後に "Of course. First, put the rice and water in the bag." と、やり方を順に説明している。これは「やり方を見せてもらえますか」という依頼に対する返事として自然。

・**Could you 〜?**＝「〜していただけますか」。ていねいに頼む表現で、Of course. で引き受ける。

・イ: 自分が見せる側の言い方で、Sofiaの発言として合わない。ウ: 「見せてほしいですか」とたずねる文で、頼みごとにならない。エ: 相手のよい知らせを聞いたときの返事。

**4　問5**（3点）

| イ（kept） |
|---|

答え: イ (kept)

・"water and food for five hundred people are ( kept ) in the storeroom"＝「500人分の水と食べ物が倉庫に保管されています」。

・**受動態（be動詞＋過去分詞）**。主語 water and food は複数で、be動詞 are のあとなので、keep の過去分詞 kept。

・keep（原形）・keeps は are のあとに置けない。keeping だと are keeping（〜を保っている）となり、「水と食べ物が保っている」という意味になって合わない。

**4　問6**（4点）

| イ |
|---|

答え: イ

・Mr. Ito の "Today, you can learn how to cook rice in a plastic bag." と、そのあとのやり方の説明、本文4の Haruka の "Sofia and I learned how to cook rice in a plastic bag." から、2人が学んだことが分かる。

・ア: "uses less water than usual cooking" なので、水は**少なく**てすむ。

・ウ: "five hundred people"（500人）で、50人ではない。

・エ: Sofia は "Could you show me how to do it?" と頼んでいるので、すでに知っていたとは言えない。

**4　問7**（4点）

| has already |
|---|

答え: has already

・本文の4の Sofia の発言 "My host family **has already** talked about a meeting place" より。

・**現在完了（have/has＋過去分詞）の完了**:「もう〜してしまった」。already（すでに）は、have/has と過去分詞の間に置く。

・主語 My host family は 3人称単数の扱いなので、have ではなく has。

## 5　問1（3点）

| |
|---|
| イ |

答え: イ

・第2段落 "One day, my mother took me to the hill." と一致。

・ア: "When I was seven years old, my family moved to this town." なので、生まれたときから住んでいるのではない。

・ウ: "I didn't have any friends" なので、友だちはいなかった。

・エ: 第4段落 "I still go there when I am tired." なので、今も行っている。

## 5　問2（3点）

| |
|---|
| ウ（which） |

答え: ウ (which)

・"I like the cherry tree ( which ) stands on the top of the hill."＝「私は丘の上に立っている桜の木が好きです」。

・先にある the cherry tree（**もの**）を説明し、あとに動詞 stands が続くので、**主格の関係代名詞** which（that も可）。

・who は人に使う。whose はあとに名詞が続く。what はその前に名詞を置かない。

## 5　問3（6点）

| |
|---|
| （解答例）① My special place is the school library. ② It is quiet, so I can read books there after school. I found my favorite book there last year. I also made a good friend when we talked about the book. |

**解答例:** ① My special place is the school library. ② It is quiet, so I can read books there after school. I found my favorite book there last year. I also made a good friend when we talked about the book.

**訳:** ① 私の特別な場所は学校の図書室です。② そこは静かなので、放課後に本を読めます。去年、そこでお気に入りの本を見つけました。その本について話したときに、よい友だちもできました。

**採点ポイント:**

・①は My special place is 〜. の形で、場所が1つ書かれている

・②は、その場所が特別な具体的な理由が2文以上

・全体で3文以上

・文法・スペルの正確さ（場所は何でもよい）